

紀要，次なるステップへ

一般に大学の使命は，教育，研究，社会貢献といわれます。学生たちに専門の知識，技術を伝え，さらに人間としての生き方に感化を与える教育，教員が各々の専門領域を探求する研究，そしてオピニオンリーダーとして地域社会に情報を発信する，また様々な地域活動に関わり地域づくりの支援をする等の地域貢献です。

重要なことは，これら3つの役割が有機的に重なり合い，その中核に研究があるかということです。最新の知見やより深い内容を取り入れた授業を行なうためには，大学教員としての絶えざる研究と研鑽が求められます。毎年同じ内容の講義のくり返しでは，学生たちを惹きつけ，導くことはできません。時代は大きく変化し，学生たちの性向も，能力も変化しています。また研究なくして，オピニオンリーダーとしての役割を果たすことも，地域支援も適いません。地域は，大学そして大学教員に，時代に対応し専門的に深化した貢献を期待します。当然そうした期待に応えるのが，私たちの使命です。

そのため大学教員は，日々研究に取り組むと共に，その結果を発表することが求められます。なぜなら研究は決して独りよがりのものでなく，多くの人々の評価に耐えうるものでなければならぬからです。大学の研究紀要は大学の自前の研究発表の場です。研究紀要は大学の研究水準を示すと共に，特に若手教員にとって重要です。研究紀要をステップとして，研究の深化を図ることができるからです。

鳥取女子短期大学（平成13年4月以降鳥取短期大学）が設立された2年目の昭和48年8月に，上記の趣旨から研究紀要第1号が発刊されました。当初，年1回の発行でしたが，その後年2回の発行となり，平成27年6月に第71号を数えるに至りました。

平成27年4月，多くの方々の要請と支援を受けて，本法人は4年制の鳥取看護大学を設立致しました。同一キャンパスに2つの大学がある良さを様々な面で引き出すことを大学運営の大きな柱にしています。体育館，図書館，食堂，寮等施設設備の共同使用，学生たちのクラブ活動，体育祭，学園祭の合同実施，両大学の教員の交流，教育内容の双方取り入れ，そして研究紀要の一本化です。

「鳥取短期大学研究紀要」は，平成27年12月発行の本第72号より「鳥取看護大学・鳥取短期大学研究紀要」へ改称致します。両大学の教員の研究が掲載されます。双方の教員が学びあい，研究内容が一層充実し，教育に，地域貢献に寄与することを心より期待致します。

鳥取看護大学・鳥取短期大学

理事長 山田修平